

35H 田畠 魁人 32H 佐野 綾 32H 廣澤 夏凧
 35H 谷内 大飛 34H 沖野 あかり 36H 名山 幸那

■課題

能登地域のことを知らない人が多いので、観光に来る人が少ない。

■解決策

影響力のある宣伝方法を活用して、能登地域についてもっと知ってもらう。

- ・ SNS を有効活用する。
- ・パンフレットの設置場所について改善し、誰にでも見られるような形式にする。

■現状（SNS の利用状況について）

グラフ：日本における SNS 利用者数



SNS利用率はネット 利用人口に対するSNS利用者の割合。
 (2019年末のネット 利用人口は9,960万人と推計)

ICT 総研

<https://www.digima-japan.com/knowhow/world/15722.php>

- SNS の利用人口は年々増加し、2022 年末には 8,241 万人に達する見込みである。

能登の SNS 利用の課題

- 日本国内の SNS 利用者が多いものの、能登の多くはネットに接続する場所がなく、観光地を調べられない。・・・①
- サイトの文字が読めず、他国の人々に伝わらない。・・・②

■現状を解決する具体的内容

- Free Wi-Fi を設置する。・・・①の解決策
 (タウンWi-Fi は全国 35 万か所)
 →快適にネットを使えるようになり、さらに、ネットを使用できるエリアの拡大につながる。
 →その観光名所や店の名前を容易に調べられるようになる。
- サイトの多言語化を図る。・・・②の解決策
 →土地ごとに多い外国人観光客の対応を行えば、他国の人々に伝わる
 (長野県辰野町は 13 か国語に対応)

■効果

- 情報が多い
 →外国人が訪問しやすく、旅行しやすいので、観光客数増加につながる。

■現状（パンフレット、リーフレット）

- 配布を行っていない
 ・“能登”や、“石川”などの関連ワードが思い浮かばなかった人の旅行先の候補には上がらない。
- 設定場所の数が充実していない 具体的な場所は表に記載
 ・近畿日本ツーリストが2022年3月末までに3分の1にまで旅行代理店の店舗数を縮小すると発表
 →コロナ禍において店舗に足を運ぶ人の減少及び、収入減少に伴う人件費削減のためか？

表. 『ぶらり能登』の設置場所

	金沢	能登	首都圏
飲食店			12
レンタカー			4
宿泊施設	7	12	
空港・駅	1	2	
観光案内所	1		
バスチケットの売り場			
道の駅		15	

のとねっと能登観光ポータルサイト

https://www.notohantou.net/camp/guide_basho.html

■具体的な解決策

- 積極的な配布
 ・新聞、リーフレットの折り込み
 ・タウンプラス（日本郵便が把握している全郵便受け箱に配達するサービス）
- 設置場所を増やす
 ・観光案内所、観光物産 PR センター
 ・県ゆかりの地 ex:) 姉妹都市
 ・利用者の多い駅 ex:) 新幹線の停車駅

■効果

- より多くの人々が手にできるようになる
 →能登の魅力が広く伝わり、観光客の増加につながる